

● 読書感想文コンクール 小学校 4・5・6 学年 の部 ●

入選

窪田 真一（くぼた しんいち） 第五小 6年生

作品名：仲間と努力が人を成長させる

図 書：チーム

僕は「チーム」という本を読みました。この本を選んだきっかけは、箱根駅伝が題材の本だからです。

この本は、城南大の浦が監督の美浜大の吉池や東体大の山城達と学連選抜で箱根駅伝で優勝を目指す話です。

僕がこの話を読んで一番印象に残ったシーンは、山城が、「浦はどうなんだ？奴の膝は」と浦を心配するシーンです。それまで山城は、「チームもクソも関係ない。俺は自分の走りをするだけだ。あとは誰が何をしようが勝手だ」

と言っていたのに、レース中に足を痛めたことによって、膝を痛めていた浦の気持ち分かるようになりました。この部分を読んで僕は、人は、仲間がいるから成長できるんだなぁと思いました。その理由は、自分に置き換えて考えると、例えば計算コンクールするとき、仲間やライバルがいると、記録が伸びます。仮に一人でやっていたら、何も面白くなく、つまらないと思います。こう考えると、人は、仲間がいるから成長できるというのは、色々な場面であるなぁと思いました。水泳も漢字もそうでした。なので、一人だったら何も出来ないだろうと思いました。

もう一つ印象に残ったシーンがあります。それは、五区を走った港学院大学の門脇が、順位をどんどんと上げていくシーンです。この門脇は、スピードがあまりないランナーです。門脇の走りは上りに向いているのですが、実は、もう一つ理由がありました。実は門脇は、何度も五区を一人で走っていました。そのこともあり、門脇は区間賞をとりました。門脇は何となく走っていたそうですが、僕は努力だととらえました。なのでここを読んで、努力は必ず報われるなぁと思いました。理由は、何回も走った分、門脇は良い記録を出すことが出来たと思ったからです。僕も漢字コンクールやテストの前に勉強します。この努力が大変なので嫌になるのです

が、努力は必ず報われることが本当だと伝わったきがしました。勉強だけではありません。水泳もマラソンもそうです。たくさん泳いだり走ったりして、努力します。なので、努力は身近だけど大切なものだと思います。

僕はこの本から、成長するためには仲間と努力が必要で大切なんだなぁと思いました。理由は、仲間は、この本から仲間て人が変われることが分かったからです。努力は、この本を読んで、実体験を通して、努力も成長する大事なことだと分かったからです。

これから僕はこうするべきだと考えました。仲間は僕を変えてくれると考えられるので、仲間を大切にしたり、仲間の意見に耳をかたむけたりしようと思います。努力は今までもしてきたので、これからもずっと続けていきたいと思っています。